

新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

2020年4月8日
東京大学物性研究所・附属中性子科学研究施設
施設長 山室 修

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が全世界的に拡大しており、感染拡大防止のための東京大学の活動制限指針がレベル3となりました。これを受けて、東京大学物性研究所・附属中性子科学研究施設としては以下の対応をすることにしましたのでお知らせいたします。

1. 共同利用研究員宿泊施設（波紋宿舎）の新規受付を停止します。
2. 海外実験支援プログラムの新規受付を停止します。

J-PARC 物質・生命科学実験施設(MLF)の HRC 分光器(BL12)に関わる利用は、今後もJ-PARC センターの方針に従って運用する予定です。
(J-PARC センターWeb サイト <https://j-parc.jp/c/index.html>)

上記 1.2.とも再開時期については改めて施設ホームページよりアナウンスいたします。

今後、東京大学の指示により職員の在宅勤務の可能性が予想されます。本件に関するお問い合わせは、共同利用窓口メールアドレス
nsi-use@issp.u-tokyo.ac.jp
までお願いいたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(参考)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京大学及び物性研究所の活動制限指針
<https://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/neutron/covid19/20200408.pdf>